

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和7年12月17日

会議の名称	令和7年度第1回志木市地域公共交通連絡調整会議
開催日時	令和7年12月17日（水） 14時00分～15時00分
開催場所	大会議室2-1
出席委員	松田政策推進課長（会長）、園原都市計画課長（副会長）、高山共生社会推進課長、川村委員（国）、古川委員（県）、松本委員（事業者）、國崎委員（事業者）、中山委員（事業者）、西木委員（事業者） 出席者：松井市長公室長 <p style="text-align: right;">（計10人）</p>
欠席委員	内田委員（事業者）、瀬戸委員（事業者）、小山委員（事業者） <p style="text-align: right;">（計 3人）</p>
説明員職氏名	中森政策推進課主席主幹 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議 題	(1) 本市の交通政策に係る事業の概要について (2) 本市の地域公共交通についての意見交換
結 果	今後も本会議を開催し、交通事業者、関係行政との意見交換を行う中で、本市における今後の施策等を検討していくこととした。
事務局職員職氏名	中森政策推進課主席主幹、荒巻政策推進課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 あいさつ

松井市長公室長よりあいさつを行った。

3 議 事

議事進行にあたり、会長の松田政策推進課長より副会長に園原都市計画課長を指名した。

（1）会議の趣旨・本市の交通政策に係る事業の概要について

中森政策推進課主席主幹より、会議の趣旨・本市の交通政策に係る事業の概要について説明を行った。

（2）本市の地域公共交通についての意見交換

会長： 委員の皆様が所属する団体においての課題等も踏まえて、本市の公共交通についてのご意見を伺いたい。

委員： 事務局の説明によれば、交通空白地帯はないとのことだが、市民から公共交通について具体的な要望はないのか。

会長： 具体的な要望は届いていない。浦バス停からの距離など、国の定義に照らした場合、市内には交通空白地帯に該当する地区はないと考えている。このため、市独自のコミュニティバスを通すといった想定は現時点でない。

委員： 条例を根拠とした交通会議を設置する予定はないか。

会長： 意見交換の場は必要であると認識しているが、会議を設置する予定はない。

委員： 要望はアンケートなどを実施して把握しているのか。また、志木市として、地域公共交通計画の作成予定はないか。

会長： 第二次志木市将来ビジョン策定の際の市民アンケートにおいて、交通施策に関する質問項目はあるが、利用者の具体的なニーズ把握のためのアンケートは実施していない。また、計画については、交通空白地帯がないとの認識であるため、作成はしないとの判断をしている。

委員： 今後、何らかの交通施策を実施する際、国の補助金を活用する際に、計画策定が要件となることがあるため、計画策定については引き続き検討されたい。タクシー業界の現状について伺いたい。

委員： ドライバーは徐々に増えてきているが、業務交代時の早朝に人手が薄くなる時間帯があり、配車希望があっても、1時間程度お待ちいただくことがある。

委員： デマンドタクシーの利用状況について、今年度は前年度比で10%程度利用者が多いが、タクシーが捕まらないなどのご意見はいただいていない。

委員： 市の福祉事業として福祉タクシー利用券の配布事業に取り組んでいるが、券の発行には費用と時間がかかっているため交通系ICカードの利用を促進し、鉄道・バスと同様の支給になればと考えている。福祉タクシー券利用者の声を伺いたい。

委員： 高齢者などに喜ばれている印象があるが、キャッシュレスでの支払いを希望する方も増えてきているので、支払い方法を増やす予定で進めている。

委員： 福祉タクシー券の利用率はどの程度か。

委員： 8割から9割程度の利用率である。

委員： 障がい者鉄道・バス利用料補助制度において、バス利用をしている対象者はどの程度か。

委員： 障がい者鉄道・バス利用料補助制度においては、交通系 I Cカードにチャージした領収書を申請時の提出書類としているため、鉄道・バスのそれぞれの利用率は、把握していない。

委員： 福祉事業であるとの観点から、交通系 I Cカードであると使いづらい方もいるので、アナログとデジタルを選択できる現状がよいだろうと考える。

委員： 下宗岡から北朝霞間のバスダイヤを見直したと伺っているが、見直しによる影響はあったか。

委員： 見直したことによるご意見はいただいていない。

委員： バス利用者の減少を懸念していたが、この地帯はシェアサイクルが市内で最も使用されており、交通手段の補完がなされていると考えている。

委員： シェアサイクルは降水確率30%を超えると使用されないという話を聞いた

ことがある。雨の日だけバスを使うという利用者がおり、突発的な増便対応も難しいため、普段の利用者が乗れないといった事態が発生している。

委員： 自転車が増えると、バスなどの運行に支障が出るとの話を聞いたことがあるが、志木市における自転車専用レーンの道路整備状況はいかがか。

委員： 市役所から志木駅までの大通りは自転車専用レーンが整備されている。

会長： 事業者の皆様から市への要望を伺いたい。

委員： 運転士不足が大きな問題であるため、就職フェアにお声がけいただくなど、採用に関する支援があるとありがたい。また他自治体では、勤め先の営業所に関わらず、バスの運転士のための家賃補助の創設や、駅前ロータリーのトイレの整備など環境の充実が図られているので、そういった点も検討願いたい。

会長： 担当課へ要望内容を伝える。

委員： 環境について付け加えであるが、駅前ロータリーでバス運転手が待機できるようなスペースがあるとありがたい。

委員： デマンド交通の利用者のなかには、袋小路の家など周辺道路の道幅が狭く、車をバックで移動させることは困難であることを理解いただきたい。

4 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。